

2022年10月12日

【声明】

ロシアによるウクライナに対する無差別攻撃を最大限に非難する

外務・安全保障部門長 玄葉光一郎

ロシアは現地時間10日に、クリミア橋が攻撃されたことの報復として、首都キーウを含むウクライナ各地に大規模のミサイル攻撃を行った。民間の施設やインフラ施設が攻撃され、無辜の市民の犠牲者を出した。

そもそもこの戦争が違法だが、非軍事施設や市民を無差別に攻撃することは戦争犯罪にあたる。非人道的であり断固として許されず、最大限に非難する。

武力行使のもと行われたロシアによるドネツク、ルハンスク、ザポリージャ及びヘルソンの4地域の一方向的な併合の試みは違法であり、断固認めない。

また、ザポリージャ原発を脅かす、すべての攻撃や職員に対する行為をやめ、「安全保護区域」の設定を含むIAEAの措置に全面的に協力し、原発の安全性を確保するよう強く求める。

ロシアは違法な侵略戦争を直ちに停止し、ウクライナから即刻撤退するよう改めて求める。